

Since
2005

東京都
目黒区

医療法人社団徳真会

とくおかレディースクリニック

患者様の信頼に応える心温かなる医療、患者様の期待に応える技術の
高い高度生殖医療を大切に頑張っています。

院長はじめ培養室スタッフが、ARTへの高い技術にこだわりを持ち、地道な努力で体外受精での成績を伸ばしています。また、院内スタッフ全員で患者さんへの細やかな気配りも忘れないよう、良い環境での診療を心がけ、さらなる発展を目指しています。ご夫婦の願いを叶えること、幸せに結びつく結果が第一ですから、患者さんご夫婦により結果が出るよう、代替医療も含め広い視野で診療を進めています。



院長 徳岡 晋 先生

防衛医科大学卒業後、同校産婦人科学講座へ入局し臨床研修。「子宮内膜症における腹腔内免疫環境の検討」にて学位（医学博士）取得。
大学病院、自衛隊中央病院、木場公園クリニック勤務後独立し、2005年、とくおかレディースクリニックを開院。
日本生殖医学会（専門医取得）

-
- 【所属学会】 ● 日本産科婦人科学会 ● 日本生殖医学会
● 日本内分泌学会
● エンドメトリオーシス学会
- 【専門医】 ● 医学博士 ● 日本産科婦人科学会専門医
● 日本生殖医学会専門医



診療日 時間：午前 10:00～13:00, 午後 15:00～19:00

	月	火	水	木	金	土	日	祝祭
午前	○	○	○	△	○	○	△	×
午後	○	○	○	△	○	○	△	×

※休診日：木曜、日曜、祝日。土曜日の午後は特別予約のみ
祝日が入る週の木曜日は一日診療を行います。

電話

03-5701-1722

受付時間：9:45～12:30, 14:45～18:30



〒152-0031 東京都目黒区中根 1-3-1
三井住友銀行ビル 6F
交通：東急東横線 都立大学駅 徒歩 1分



主な連携・紹介施設など

健診・分娩施設／昭和大学病院、東京医療センター、愛育病院、育良クリニック、その他近隣の連携施設 など
婦人科検査・外科／各種大学病院、近隣の連携施設 など
内科系疾患／各種大学病院、近隣の連携施設 など
助成金行政窓口／お住まいの地域の役所・保健所

データからわかること

2005年の開院以来、やがて15年を迎えようとしています。20名のスタッフで、不妊治療での患者さんの割合は、一般不妊治療が65%、ARTが35%です。

一般不妊治療で妊娠するケースも多く、妊娠の割合では、一般不妊治療が60%、ARTが40%と比率的差が少ないようです。

ARTでの年間の治療数や妊娠結果としては、採卵件数が約450件あり、750件前後の胚移植を行って、そこから300件近くの妊娠があり、200人の赤ちゃん

が生まれています。

卵胞を育てる誘発方法はアンタゴニスト法が多く、75%の患者さんがこの方法を受けています。この方法はOHSS（卵巣過剰刺激症候群）を避けながら誘発をすることができます。その他では、低刺激法が19%、ロング法が6%です。

患者さんの平均年齢が37歳、最高齢出産は45歳、患者さんの最高齢者は50歳。患者さんの平均年齢が若干若いことが妊娠結果にも影響しているようです。



治療の特徴

説明会の様子

院内の待合室が通常の説明会の会場で、夫婦が25組ほど参加して行われます。説明会は、妊娠準備学級の愛称で開院後、間もなく始まりました。専門性が高まり、現在は不妊治療勉強会として、オリジナルの動画などを使用し、より直感的に分かりやすく伝える内容になっています。培養士と看護師も説明に参加しているため、スタッフが分かりフレンドリー感もあります。開催は、月に1回、土曜日の午後と、月に1回、水曜日の夜が追加されました。夫婦での参加、そして働く人が参加しやすいように考えられています。

採卵から培養

採卵に向けては、4回のエコー検査とホルモン検査があり、麻酔をして痛みなく行います。医師と看護師、培養士がチームで手術を行います。看護師がオペの準備と患者の誘導、医師が卵子を卵胞液ごと吸引、その卵胞液から培養士が検卵します。

卵子の確認後、媒精か顕微授精で受精を行います。受精率は、媒精で75%、顕微授精で85%です。胚は、新鮮胚移植以外、凍結保存します。

精子調達では自宅採精が多く8割を占めます。

胚移植について

胚移植は新鮮胚移植と凍結胚が半々でしたが、ここ数年で凍結胚移植が約9割へと増えました。移植胚は胚盤胞が全体の6割を占めます。

移植する胚の数は、胚盤胞で1個、分割胚で1～2個。多胎のリスク説明を行い、原則1個胚を戻しますが、患者さんの治療歴や年齢、胚の状態などから、2個胚を戻すことがあります。

治療周期中は、運動指導や栄養指導もあり、葉酸やビタミンなど必要な栄養摂取のためのオリジナルサプリメントも提供されています。

妊娠判定と妊娠について

妊娠判定は、胚盤胞移植後11日目、分割胚移植後14日目に血液検査にて行います。陽性の場合、妊娠15週まで診て、産科にバトンタッチします。

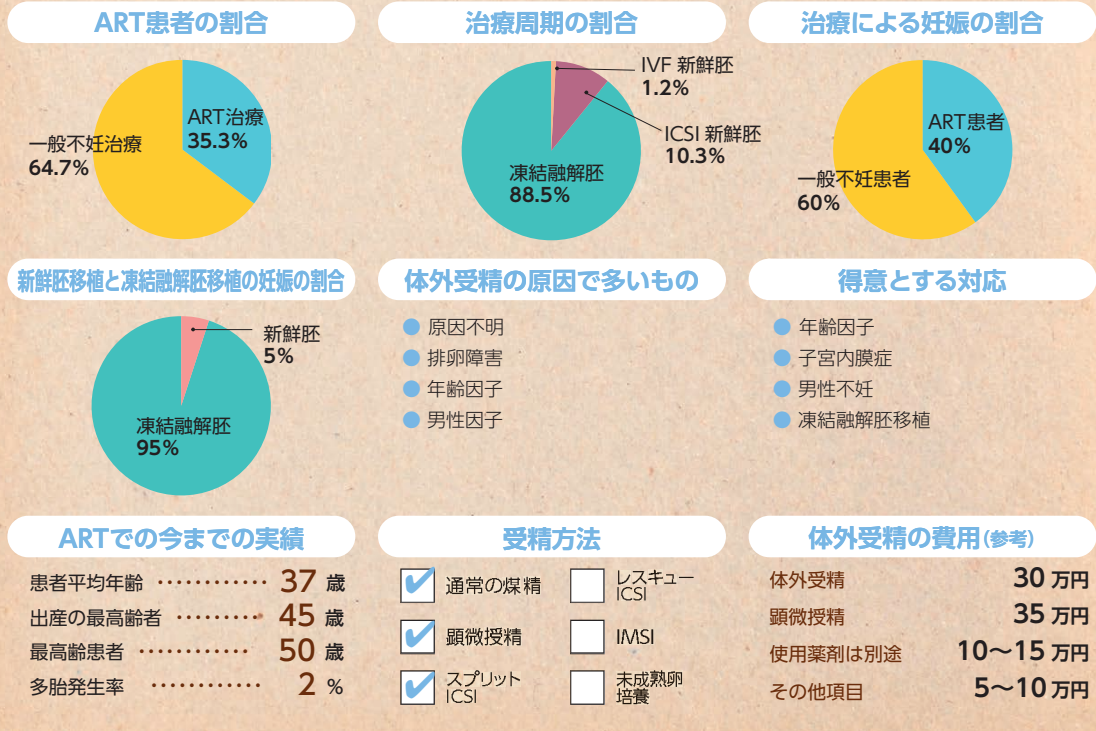
医師からの紹介状があり、分娩を行う産科施設の紹介もありますが、出産する病院は独自に選択するケースも多いようです。出産後は無事な出産であったかどうかなど、連絡、確認を行っています。

陰性の場合は、2～5日後に次回診療を行い、カウンセリングも対応しています。

Staff
医師 2人
看護師 3人
培養士 3人
検査技師 4人
相談スタッフ 5人
事務 5人

年間治療実施数について

統計期間：2017年1月～2017年12月（12ヵ月で計算）



01 治療をはじめるとあって



ARTの説明会

有 無 [形式]
 通院者のみ
どなたでも

[説明するスタッフ]
 医師
看護師
培養士
相談スタッフ
IVF

[説明会の様子と日程]

■ 毎月第2土曜日と第4水曜日に不妊治療勉強会を無料開催しております。院長と主任胚培養士がART治療について映像を混ぜ、わかりやすく説明しています。

ARTの資料

有 無
オリジナル小冊子
オリジナル書籍
一般書籍
提供冊子

相談窓口

要予約
通院者のみ
どなたでも
電話対応
メール対応
FAX
面談対応

[説明するスタッフ]
 医師
看護師
培養士
相談スタッフ
IVF

治療前に確認すること

- 治療歴 ● 治療にむけての夫婦生活 ● 妊娠歴 ● 出産歴
- 夫婦の入籍状況 ● 夫婦の卵子と精子での治療であること
- 保険証

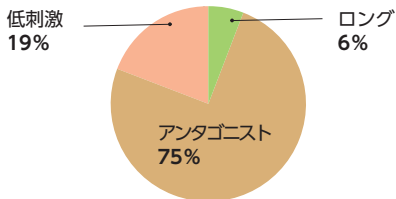
治療周期前に行う検査

- 月経の様子 ● 基礎体温 ● ホルモン値 ● 子宮検査
- 卵管検査 ● 卵巣検査 ● 精液検査 ● AMH値
- 治療周期 2～3 周期前からの月経・ホルモン値

Stage
02

誘発方法と薬剤について

誘発方法の比率



使用薬剤

シクロフェニル	セクソピット
クロミフェン	セロフェン
レトロゾール	
GnRHアゴニスト	ブセレキュア
GnRHアンタゴニスト	ガニレスト、セトロタイド
HMG	フジ、テイゾー、フェリング
recFSH	フォリスチム、ゴナールF
FSH	フォルリルモン
hCG	プレグニール、ゴナトロピン

錠剤 噴霧 注射

[自己注射] 可 不

Stage
03

採精について

採精場所

自宅 80% 施設 20%

男性不妊対応

自院対応 連携施設 紹介のみ

特別な採精方法

TESE MD-TESE MESA ReVSA PESA 前立腺 電気

Stage
04

採卵について

事前検査回数

エコー検査 4回 ホルモン検査 3~4回

採卵時の麻酔

全局痛無

採卵時スタッフ

医師 看護師 薬剤師 検査技師

採卵のタイミング

hCG注射 36時間後 GnRHアゴニスト点鼻 36時間後 卵胞径 18~20ミリ

[採卵後休憩] 2時間

[付き添い] OK

[使用採卵針] 18~19G

Stage
05

培養室について

衛生・管理面での厳守

- 入室時の手洗い 専用衣服、帽子、マスクの着用
- 空調管理 温度、酸素濃度の確認 室内清掃
- 作業マニュアル（更新含む） 勉強会や検討会がある
- ミスが起きた時の対応はすぐにとれる

培養士の人数

専門培養士 2人 検査技師兼任 1人 医師兼任 0人

[管理責任者] 徳岡 晋

凍結保存

胚 精子 卵子 [延長連絡] 電話・手紙

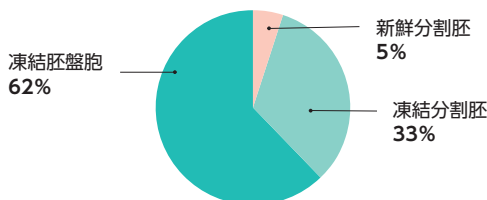
胚：期間&費用…12ヵ月 55,000円/更新…30,000円

Stage
06

胚移植について

[分割胚] 1~2個 [胚盤胞] 1個

移植胚の状態



黄体管理

注射 服薬 貼付 腔坐薬 [診察] 2回

Stage
07

妊娠について

妊娠判定受診日

[分割胚移植後] 14日 [胚盤胞移植後] 11日

陽性的場合

[判定日の内診] 無 [妊娠中の診察] 15週まで

[分娩] 紹介施設有

陰性的場合

[次回診察] 2~5日目 [カウンセリング] 有